別紙３

2026年度から導入した評価項目

自動車アセスメントでは実際の事故形態を踏まえ、より幅広い場面で安全性能を評価するため、以下の評価を導入します。

衝突被害軽減ブレーキ（AEBS）

交差点に対応した衝突被害軽減ブレーキについて、新たな試験シナリオを導入します。
衝突を回避、もしくは、速度を低減した度合いに応じて、得点が与えられます。

対二輪（右直）

- 右折時に対向方向から直進する二輪車に接近した場合の衝突被害軽減ブレーキの作動状況を確認する試験です。



対四輪（出会い頭）

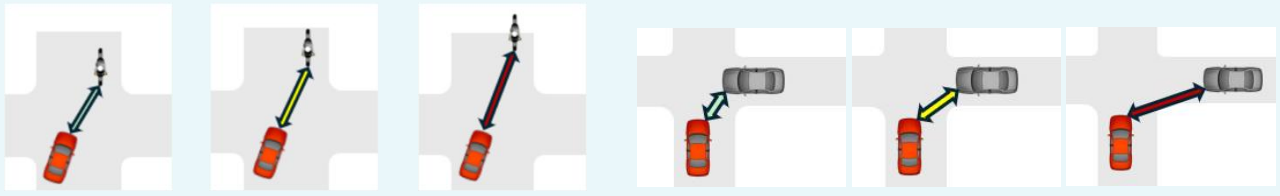
- 直進時に右側から直進する四輪車に接近した場合の衝突被害軽減ブレーキの作動状況を確認する試験です。



ユーザーの皆様へのお願い

- 下記ケース①・②のような状況でも、実際の交通環境では衝突被害軽減ブレーキが作動しない場合や、作動しても衝突を避けられない場合があります。
- 衝突被害軽減ブレーキは、あくまでも、アシスト機能です。**過信せず**、取扱説明書を読み、**作動条件等を正しく理解**して、安全運転を心がけてください。
- また、ケース③では、事故直前に交差車両が前方付近にないため、衝突軽減ブレーキは作動しません。運転手が自ら様々な状況を想定した衝突回避行動を取る必要があります。

事故直前の車両位置関係



※ケース③に対応する予防安全技術は、今後、その開発状況などを踏まえながら、検討予定です。

事故自動緊急通報装置

大きな事故の際に自動でコールセンターに通報する「事故自動緊急通報装置」について、新たに後席乗員情報※の通報可否を評価します。

※通報時に後席乗員の有無に関する情報を送信する装置について、高い得点を与えます。